

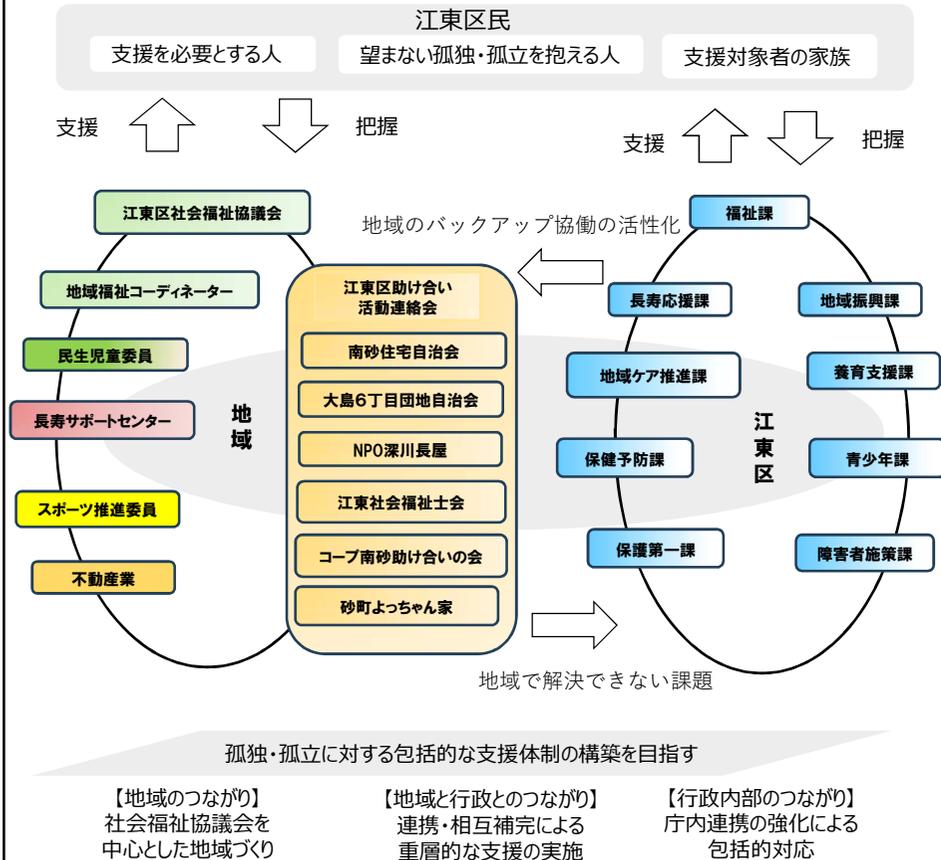
江東区の孤独・孤立対策について

江東区における孤独・孤立対策の推進体制の整備

【江東区孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム】

- 江東区、社会福祉協議会、NPO等の支援団体、町会・自治会、地域包括支援センター、民生委員、スポーツ推進委員、民間企業で構成する江東区孤独・孤立対策官民連携プラットフォームを設立（今年度はコアメンバーのみで構成）
- 孤独・孤立対策連携会議を開催し、孤独・孤立対策に関する意見交換、試行的事業の検討を行った。

江東区孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム ～孤独・孤立に対する包括的な支援体制の構築～



試行的事業実施

試行的事業1 講演会「孤独・孤立を考える」の開催

孤独・孤立している方の支援に関心のある方を対象に、孤独・孤立を考える講演会を実施（2月6日19時～総合区民センター）。講師の孤独・孤立重点計画策定委員の駒村康平慶応義塾大学教授からは、国の調査結果や孤独孤立対策に対する考え方について、孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム準備会メンバーの高橋良太全国社会福祉協議会地域福祉部長からは、孤独・孤立対策に資する活動事例が示された。参加者は110名。講演会動画を区公式YouTubeチャンネルで公開中。



試行的事業2 孤独・孤立対策に資する活動についてのアンケート

江東区内の孤独・孤立（人とのつながり）に関係した取り組みを広く把握するため、区内において、人とのつながりを生み出す活動や、居場所づくりを行っている団体の代表者に対してアンケート調査実施。62団体より回答を得る。孤独・孤立（人とのつながり）にかかると感じる問題に取り組む必要性について、94.1%が必要性を感じていると回答。



試行的事業3 孤独・孤立対策リーフレット作成

孤独・孤立に関する取り組みを広く住民に周知するため、紙媒体の周知ツールとして、孤独・孤立に対する支援窓口を掲載したリーフレットを作成。今後、区HPにも掲載し、孤独・孤立対策の支援ツールとして活用していく。



孤独・孤立対策～今年度の成果と把握できた課題・今後の取組みの整理～

【今年度の成果と把握できた課題】

- 江東区や民間団等が一体となって対策に取り組んでいくための体制を整備。
- 試行的事業を通じて、行政の相談支援窓口など各種施策、社会福祉協議会のアウトリーチ活動や居場所づくりなどの多様な取組み、民間団体等の人のつながりを生み出す活動など、孤独・孤立対策に対する多様な資源が確認された。
- アンケート調査では、「地域における孤独・孤立の実態がわからない」「取組みを検討する体制が不足している」が全般的課題として多く回答された。また、区への要望としては、「人的・金銭的支援」「官民連携の取組みの推進」「支援団体等に関する情報の取りまとめ」が多く回答された。
- これまで行政や民間団体等とつながりを持てていなかった人や自ら声をあげられない人に、どのようにアプローチし、継続的に支援していくかが課題となっている。また、孤独・孤立に関する悩みを抱える方を、既存の適切な支援に繋ぐ手段の検討が必要である。

孤独・孤立対策を推進していくため取り組んでいく課題

- 支援策の充実
- アウトリーチ型支援体制の構築
- 関係機関との連携強化
- 孤独孤立に関する普及活動
- 見守り・交流の場や居場所の確保
- 声を上げやすい・かけやすい環境整備
- 江東区における担い手の育成

【今後の取組みの整理】



課題の対応にあたっては、既存の取組み・支援・活動の活用・強化を図ることが孤独・孤立対策に効果的と考える。

- 江東区孤独孤立対策官民連携プラットフォームの孤独・孤立対策連携会議を活用し、上記の視点も踏まえながら、引き続き必要な対応を検討を深めていく。
- 「地域のつながり」と「行政内部のつながり」「地域と行政のつながり」による孤独・孤立に対する包括的な支援体制の構築を目指す。